

# 2015 チームビルディング合宿研修 1st

今、あなたの会社で起こっている課題は何でしょう？それは「人」にフォーカスすることで解決の糸口を見つけられるのではありませんか。既に課題が顕在化していればこの「チームビルディング研修」で明白な成果を実感していただけるでしょう。

想定課題	研修成果
組織として仕事が出来ない。	強烈なチーム力を醸成し発揮させる
個のチカラが未成熟なままだ。	自立（自律）した個に変化させる
いつも誰か（何か）の責任にしている。	主体的であり自己認識を改革する

何も行わないと・・・

離職増加	志気減退	クレーム増加
採用コスト増	顧客離れ	教育負担
収益減	マネジメント不全	ブランド力減退
品質不全	意志不通	未決不実行

## たった3日で社員が変革する。

研修という「仕事」を通じて成果を挙げる事を目標に  
 ・人の期待に応え続ける  
 ・周囲と関わり互いを高め合う  
 ・何事にも本気で一生懸命取り組む  
 という目的（何のために）を完遂していきます。

その課程で心の動きが行動に現れ、自分と仲間、目の前の物事に対して向き合う事が出来なければ研修が前に進まないジレンマを体験します。

擬似的ではあるものの、日常の職場で起こりうる事をリアルに体験し  
 普段の自分自身とオーバーラップさせ、自分と向き合うことが出来るようになります。

この時、経験した自社の社員達はこの体験にひも付け、日常の関わりをより一層濃いものにしていく事で  
 組織力をより一層強いものにしていきます。

二度三度経験する研修ではありません。  
 肉体的にも精神的にも研修はキツイが日常はもっとキツイ事を考えれば  
 もっと自分には可能性があることを信じ、より高い自己成長を育むものだと受講者自身が認知して日常に反映していきます。



何に変化をもたらすのか、この研修によって得られる成果は企業によっても様々といえます。

**たった3日で「組織」が変わることに欠かせない「社員」の意識が目に見えるよう変化します。**会社では口にしていない（または出来ない）ことが忌憚なく発言できるようになり、受講した**社員の率先性に目を見張ることになります。**

※効果実感は、皆様の声参照

参加する受講者が主役のこの研修は「受身」では進めることができません。そこで「他者認識」の多くを受講者自身に求め個々に追求します。

**「自分が変われば周囲が変わる」この主体的な解釈と「行動」を期待して頂きます。**結果この3日間を長いと感じることはありません。何故なら、参加した皆が自分の変化をこんな早さで実感したことは初めてだと気づくからです。

## 非日常を最大に 活かし納得する。

- 午前
- ▼オリエンテーション
- ▼研修の目的/目標の解説
- 午後
- ▼基本行動訓練
- ▼チームアクティビティ
- ▼チームビルド解説
- ▼発声訓練
- ▼ウォークラリー計画立案
- ▼フィードバックミーティング

- 午前
- ▼朝礼 決意と目標の発表
- ▼ウォークラリースタート
- 午後
- ▼ウォークラリーゴール
- ▼ウォークラリー振り返り
- ▼フィードバックミーティング

- 午前
- ▼朝礼 決意と目標の発表
- ▼3日間の振り返り
- 午後
- ▼自己課題抽出と他者からの提供課題
- ▼今後の対策と行動決意
- ▼決別宣言
- ▼終了

### 3日間のプログラム

組成されたチームで研修に参加します。他チームとの関わりは、まさにビジネスの本質といえる「競争」。競争に打ち勝つにはチーム内の関わりをどのチームよりも強くしていく必要があります。日常の「職場」で見られる個人の言動や行動はたった「3日」で浮き彫りになり、個人それぞれの課題を明らかにします。そしてこの研修の目的を「アタマ」ではなく「腹」で理解し、自己変革へ結びつけます。

## 研修の様子

これまでの受講生の皆様が書いた「日報」より抜粋しました。

■精一杯にモノゴトに励むことに、いつの間にか遠のいてたことに気付きました。あんなに達成感を味わったのはどのくらいぶりだろう。

■かっこ悪いと思っていたことは全部自分の逃げだった。

■知らなかった人ばかりだったのに、全員で自分の指摘をしてくれた。指摘をしてくれることを嬉しいと思えた初めての日だった。

■人の期待に応えるとは、自分で自分を評価するのではなく「認められること」



■いろいろな人とチームを組めたことが、自分にとっても勉強にもなったし、良い体験ができた。普段、一緒に働いているスタッフのみんなより、同じチームのメンバーだった人とは心が通え本音が言えたと思う。



■もう歩きたいなんて絶対思えない。でもまた皆と会いたいし一緒に仕事をしたいと思えます。

■結論がでるまで議論をするなんて初めてだった。わかったことは「折れる」んじゃないかと、納得をして前へ進めることなんだと、実感できた。

## 参加した皆様の声

お客様アンケートから皆様の声を集めました。



※過去約二年の間、九百六十時間以上に及ぶ総合研修時間に五百二十名以上の受講者からの報告文を引用しております

■この研修は入社時の必須になりましたが、最初は疑っていましたが、いわゆる「鬼の〜」だと思ってました。中身は180度違った

■経営者として従業員の変化に私自身が見直しを迫られ、眠っていたような会議が今や議論の山となり大変満足しています

■この研修に参加させてくれてありがとうございますと社員から言われた。初めてのことでこちらが戸惑った

■役職に上がる前にはこの合宿に出たあとと課題するようにしています

■短命な研修の効果だと思っていました。が継続した意識強化が見受けられます

■あえて物足りなさは、施設が遠方で様子を見に行きたいが時間が制約された。講師が高ぶらず、個々にとても深く関わり合っていていた

■成功体験も失敗体験も積んだ状態で帰ってきたことで私たちが関わりやすくなった



[実績業種 順不同]  
 ■IT(ネットワーク含) 開発事業  
 ■WEB開発/制作事業  
 ■医療福祉介護事業 ■証券業  
 ■不動産業 ■飲料業  
 ■Eコマース事業 ■医薬品業  
 ■放送業 ■家電量販小売  
 ■アパレル業 ■玩具ゲーム業  
 ■飲食業 ■製造業 ■建築業  
 ■通信事業 ■建築資材卸業  
 ■人材派遣紹介業 など

■弊社の社員が抱える個別の課題を事前に申し上げましたが真摯に講師が解決へ導いてくれました

■意識は変わらないと思っていただけに最初は目を疑いました

■開催数が隔月なので増やしてほしい

■他の合宿系の研修と比べ安かったのはそれなりの内容なのかと思っていたが他の研修以上の効果があったと思う

お問合せ先

株式会社ディプレ

Tel 03-5366-9556 Fax 03-5366-9559

Mail info@deple.jp

(アイ・エヌ・エフ・オー@ ディ・イー・ピー・エル・イー・ドット・ジェイ・ピー)

開催日程

直接担当までお問い合わせ下さい。

価格 180,000 yen/お1人様

消費税別・集合場所から現地までの往復交通費・食費・宿泊費・保険料・テキスト代・3ヶ月後の振返り研修費用込み